

横 市 基 第 16 号  
令和 2 年（2020 年）7 月 21 日

外 務 大 臣 様  
厚生労働大臣 様  
防 衛 大 臣 様

横須賀市長 上 地 克 明

在日米軍における新型コロナウイルスの検疫・隔離措置等の徹底について（要請）

令和 2 年 7 月 20 日に、横須賀市内の民間宿泊施設に滞在していた米海軍関係者が新型コロナウイルスに感染していたとの情報提供がありました。

この米軍関係者は、7 月 19 日に羽田空港に到着後に検疫所の PCR 検査を受け、検査結果が判明する前に米軍専用車両により横須賀市の民間宿泊施設に移動後、同日中に陽性が判明し横須賀基地内での隔離措置をとったとのことでした。

本市では、これまでも米海軍における新型コロナウイルスの感染拡大防止について、国及び在日米海軍に強く求めてきたところではありますが、今般の事例は、日本国内の空港を利用しているにも関わらず日本の検疫ルールに従っていないばかりか、日米両政府の了解事項として行われた措置であるとのことでした。

本件については、横須賀市と在日米海軍が共に協力して感染拡大防止に注力を注いでいる中、看過できませんので、以下について要請いたします。

#### 記

1. 在日米軍関係者が日本国内の空港等を使用して入国する際は、日本側の検疫ルールを遵守するよう徹底していただきたい。
2. 在日米軍における新型コロナウイルス感染者の情報については、引き続き適宜適切に情報提供をいただきたい。
3. 今後、米軍関係者の日本への入国の増加が予想されることから、実効性のある水際対策について日米両政府において綿密に協議していただきたい。